

平成28年度 第1～6年 図工科 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
1・2	【課題】 ☆友達作品に関心を持ち、お互いに見合い、よさを見つけられるようにしたい。 ・他の児童作品の良さをとりあげても、自分が作ることに夢中で、関心を示さないこともあったので他者に目を向けられるようにしていきたい。 ☆身近な道具をさらに使いこなせるようにしていきたい。 ・のりの使い方やはさみの使い方についてよく理解できていない児童がいるので徹底していきたい。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・鑑賞の能力を高めるために児童作品のよさを取り上げ、活動中に(グループ内やクラス内など臨機応変に)鑑賞し合えるようにした。	☆成就感・問題意識を引き出す工夫 ・自他の活動の良さに目を向ける習慣を付けさせるためには、はじめのうちは、教師が鑑賞の時間を設定するなどして、他者の作品から学ぶ姿勢を育てていく。 ☆補助資料の活用 ・のりの使い方やはさみの使い方についてくり返し手本を見せて定着させていく。また、絵や地図で示すことで、理解を促していく。
3・4年	【課題】 ☆どのような観点で鑑賞したらよいのかが分からずに、より良い鑑賞活動ができていないので、観点を明確にして、言語活動を含め、表現できるようにしていきたい。 【工夫】 ☆一目見て流れがわかるように、板書で手順を示して、見通しを立てて活動できるようにした。 ・自分のペースで活動できるように材料や道具を分かりやすく置くなど、環境設定を工夫した。 ☆相互の学び合いと手立て ・授業の終わりに相互鑑賞をさせるために作品紹介カードを使って、自分の作品に対する振り返りをさせた。	☆成就感・問題意識を引き出す工夫 ・よりよい鑑賞活動をするために、観点を先に示し、自分の思いを言葉を使って表すことができるようにする。 ☆評価 ・良い観点で鑑賞活動をしている児童の鑑賞カードを読みあげたりして全体に広める。
5・6年	【課題】 ☆表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うと共に、表現に適した方法などを組み合わせて表わせさせたい。 ・長い時間をかけて取り組む題材では、本時の目標が定まらず、全体でその日に取り組むべきことに取り組めないこともあったので、徹底していきたい。 ・今までの技能と新しい技能を組み合わせることで、考えることが苦手な児童がいるので、全体で振り返ることで、自然と発想できるようにしていきたい。 【工夫】 ☆手立て ・手順通りの作業をするのではなく、材料・道具・方法などを提示し、自分で表したいことを見つけたり、つくり方を工夫したりできるようにした。	☆指導目標の明示 ・自分なりの目標を明確にするために、授業の目標を確認し、ワークシートを活用するなどして、見通しをもつてすすめられるようにする。 ・既習の学習を取り入れるために、導入の際、今までの技能と組み合わせられるかを考える時間を全体で取り入れる。 ☆教材・板書の工夫 ・見通しをもてるように作品事例を提示したり、制作カードを準備したりする。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		

